

ふりがな 氏名	はら ともみ	都道府県	埼玉県	
	原 智美			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館 ・持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J） 			
私のESD活動	<p>持続可能な社会の実現に向けて、誰もが「自分なりの一歩」を踏み出すためのきっかけづくり</p>			
関心・活動のSDGs				

活動の概要

☆ESD を伝える

ESD-J2017 年度インターン生として、様々な情報発信を行ってきました。特に最前線の ESD 実践者にお話を伺う新企画「ESDトーク」では、特別企画として「ESDとユース」をテーマに第1回コンファレンス参加者でもある辰野まどかさんへのインタビューを実施。HP への記事掲載後「自分も ESD を伝えたい」「今後もこのシリーズを続けてほしい」とご好評を頂いています。また、全国の大学生が地域で持続可能な社会づくりに取り組む先輩方を取材し、ESD や環境教育のあり方を考える「ESD『見える化』レポートプロジェクト」に参加しました。私は「奥多摩の豊かな森と都市をつなぐ循環」を取材し、ESD は人々の「体験」と「出会い」から芽吹き広がっていくのだという大きな気付きを得て、その成果を冊子「Imagine ESD」にまとめ発表しました。

☆ESD の場づくり

「ESD のこれからについて多様な人と一緒に考えたい」との思いから、ESD-J 独自のイベント「ESD CAFE TOKYO」を開催しました。第1回「未来を変えるひとづくり ESD のこれからを考えよう」、第2回「ESD の GOOD アクションをシェアしよう」をテーマに、ESD の先駆者をゲストに迎え全員参加型ワークショップを実施。ESD を実践している人、これから関わりたい人、沢山の皆さまに立場や世代を超えて参加して頂きました。イベントを通して、ESD を広げる鍵は「世代・価値観ごちゃまぜで語り合う場を作る・参加することや、「仲間の良い所を見つける力」にあることが見えてきました。

・ESD 活動支援センター「ESD『見える化』レポートプロジェクト」 http://esdcenter.jp/youth/imagine_esd/

・持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J) <http://www.esd-j.org/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

ESD は、関連する活動を行う人が必ずしも「これはESDだ」と気づいていなくても、その活動が結果的にESDだったという場合がよくあります。ここに「気づき」をもたらし、さらなる「自分なりの一歩」につなげるためのヒントを、ユースの皆さんに刺激を受けながら探っていきたいです。そのためにコンファレンスでの対話を通して、これまでの自分自身の活動を見つめ直しながら、参加者の方々と深くつながっていきたくです。そして継続的なネットワークを築き、「ESD CAFE TOKYO」のような「場づくり」「つながりづくり」をさらに前進させたいと思います。

また、現在私は図書館で司書として働いています。図書館は単なる読書の場所というよりも、あらゆる分野から集めた情報を誰もが利用しやすい形で提供する重要なプラットフォームであり、新たな出会いをもたらす場所といえます。人々の叡智の結晶である全国の図書館は、持続可能な社会を創る上で欠かせない「学びとつながりの場」となる可能性を秘めていると思います。コンファレンスで得られる出会いや学びをもとに、これからの ESD や SDGs に図書館はどのような形で力になれるのか、多様なステークホルダーと一緒に考えていけたらと思っています。